

第18回豊田市平和リレー講座 実施報告

豊田市各地の戦争遺跡を訪ね証言を聞く「平和リレー講座」は4月29日、44人が2台のマイクロバスに分乗し、7ヶ所を回りました。

高岡地域は昭和2年、中国侵略、アジア太平洋戦争へと向かう中、天皇が臨席し、全国から大軍を集めての大軍事演習が行われた地でした。その後も昭和16年まで6回の演習をこの地で行っています。古くは明治44年大正天皇が皇太子の時期にも演習が行われその記念に御乗替橋として地名が残っている。



昭和20年、学童疎開中の児童が三河地震で犠牲になった徳念寺に行き当時4年生の地元の方にお話を聞いた。悲しい出来事として記憶されていました。



竹村の名鉄電車襲撃の現場に立ち、終戦前日トヨタを狙った5トン爆弾と同じ作戦で乗客70名近い犠牲者が(死者7名?)出ました。現場には慰霊碑もなく参加者からお地蔵さんがあればという声。戦争に大きくかかわっていたこの地域が今は平和な田園と工場群となっています。語り継いで、歴史を埋もれさせないため、今後も聞き取り調査を続けます。詳しい内容は「豊田市平和を願う戦争展」(8月25・26日)に展示されます。ぜひお越しください。